## 児童・生徒及び地域や家庭への周知について

「ふっさっ子スタンダード」は、本市独自の取組です。そのため、児童・生徒自身に「ふっさっ子スタンダード」を意識させ、親しみをもたせるとともに、家庭や地域へ周知することが大切であると考え、次の取組を推進します。

#### 1 児童・生徒への周知

- (1) 入学する小・中学校の新入生に対しては、小学校スタンダードは下 敷きに、中学校のスタンダードはクリアファイルに、それぞれ印刷して 配布します。
- (2) 在校生に対しては、iPad を起動する際の画面の壁紙として「学び方スタンダード」を共通に設定し、iPad を使用するたびに、いつでも内容を確認認できるようにします。
- (3)「学び方スタンダード」のポスターを作成し、各学級の教室内に掲示します。

### 2 家庭や地域への周知

- (1) ふっさっ子の広場や、学童にも、「学び方スタンダード」を掲示し、放課後支援に関わる方々も内容を確認できるようにします。
- (2) 教育広報「福生の教育」や、市教育委員会ホームページに、「ふっさっ子スタンダード」を掲載します。
- (3) PTA 連絡会や CS 委員会、町会長協議会や幼稚園・保育園園長会等に市職員が参加して周知します。

改定版「ふっさっ子スタンダード」 令和4年3月

編集·発行 福生市教育委員会教育部教育指導課

所 在 地 〒197-8501 東京都福生市本町5番地

電話番号 042-551-1538

## 福生市立学校の先生方へ

# 改定版

# ふっさっ子スタンダード

~全児童・生徒の望ましい学習習慣や生活習慣の定着を目指して~

福生市教育委員会は、児童・生徒が望ましい学習や生活の習慣を身に付けることを目的に、平成27年3月に「ふっさっ子スタンダード」を策定し、本市の全小・中学校が、目指すべき学び方や家庭での生活の仕方について、家庭・地域の方々と共有し、児童・生徒への指導にあたってまいりました。

一方、「ふっさっ子スタンダード」は、策定してから7年が経過いたしました。この間、学習指導要領の改訂や、新型コロナウイルス感染症への対応、GIGAスクール構想に基づく一人1台iPodの配布等、児童・生徒を取り巻く学習環境や生活環境が大きく変容しました。

そこで、令和3年度に内容の見直しを行いました。

改定にあたっては、現行の「ふっさっ子スタンダード」を基本としつつ、修正すべき点や追記したい内容等について、各学校の児童会・生徒会を通じて子どもたちの意見を募るとともに、校長会、市内全小中学校の教職員、各校のPTA及びPTA連合会、各コミュニティ・スクール委員会、市内幼稚園・保育園園長会からも御意見を頂きました。

今回の改定のポイントは、以下の4点です。

1 主体性の育成

3 情報活用能力の育成

2 自己調整力の育成

4 新しい生活様式の追加

福生市立学校の先生方におかれましては、「ふっさっ子スタンダード」について理解を深めるとともに、本資料の活用例を参考に、家庭や地域とも連携しながら、全児童・生徒に望ましい学習習慣や生活習慣が定着するように指導することを期待しています。

令和4年3月 福生市教育委員会

# 改訂版「ふっさっ子 スタンダード」

## 幼稚園・保育園版

小学校版(学び方スタンダード・家庭生活 10 ヶ条)

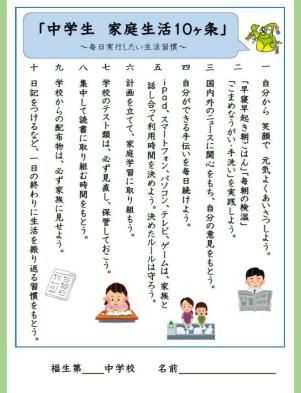
中学校版(学び方スタンダード・家庭生活 10 ヶ条)











この「ふっさっ子スタンダード」を、次の場面等で指導・活用することをお願いします。

### 1 学級・学年での指導

- (1) 学級·学年目標と関連付けて、取組 の重点を設定する。
- (2) 月ごとの生活目標と関連付けて、全 校朝会等で、全児童·生徒及び教職 員で目標を共有する。
- (3) 月末·学期末に振り返りの場面を設け 成果と課題を確認する。

## 2 生活指導主任会、幼保小・小中連絡会等で活用

- (1) 各学校の「ふっさっ子スタンダード」活用実践の報告を通して、児童・生徒の課題を把握したり、好事例について共有したりする。
- (2)「小1プロブレム」、「中1ギャップ」の解消に向けて 「ふっさっ子スタンダード」を柱にした接続期の教育 活動の見直し・改善を検討する。

### 3 地域や保護者と連携した指導

- (1) 学校だよりの巻頭言で「ふっさっ子スタンダード」を活用した取組・指導内容を取り上げる。
- (2) 保護者会·PTA 連絡会·CS 委員会 等の協議会·懇談会で取り上げる。
- (3) 学校評価の項目に位置付け、学校経 営方針·教育課程の改善に生かす。